

保健統計学

Health Statistic

1 単位

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	神谷 訓康 准教授
開 講 期 間	前期 (6月~7月)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜 3 限 (13:10 ~ 14:40)
履 修 条 件		募 集 人 員	10 名以内
教 室	未定	連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	①保健統計学の重要な健康指標について理解し、説明できる ②代表的な統計手法について理解し、データを基に演算・解釈できる		
授 業 概 要	保健統計学は集団における健康事象を数値で表現し分析するための手法であり、適切な方法を通して集団における規則性を見いだすことを目標とする。データを収集し分析を行う際には統計学的判断が重要であり、健康教育において疾病のリスクを数値で説明する際にも、より深い統計学の知識が必要であることを学ぶ。		
授業時間学習以外の学習 (準備学習含む)	講義前には、Moodle にアップロードする資料に目を通し、概要を理解しておくこと。 講義後は、電卓やコンピュータソフト等を用いて、学んだ内容を実用・応用できるかどうか、各自で演習を試みることを。		
授 業 計 画	1	統計学の基礎	
	2	1 変数の記述統計	
	3	2 変数の記述統計	
	4	母集団と標本分布、中心極限定理、推定	
	5	検定の手順、平均に関する検定	
	6	カイ二乗検定、相関係数	
	7	検定の限界、統計学の理論と現実とのギャップ	
評 価 方 法	各授業ごとの課題 50%、期末レポート 50%		
教 科 書	大木秀一：基本からわかる看護統計学入門 第 2 版, 医歯薬出版		
参 考 図 書	講義時に示す		
特 記 事 項	保健統計学は公衆衛生活動で重要な科目です。聞きなれない用語などの影響で、難しく感じることもありますが、繰り返し学習することで徐々に理解が進んでいきます。講義を聴くだけでなく、丁寧な予習復習も行って、役に立つ知識を身に付けてください。 オフィスアワー：事前にメールでアポを取ってください。		